

参加型予算モデル実施報告

参加型予算は、区民の意見を行政活動に反映させ、区の財政を身近に感じてもらうとともに、区政に積極的に参加することを促進し、また、行政にはない新たな発想や考えを取り入れることで、より区民ニーズに沿った事業の執行や行政課題の解決につなげることを目的に、「杉並区区政経営改革推進計画（第1次）」（令和4年度一部修正）から取組を開始した。当時、区市町村を単位として実施している自治体は全国でも例が少なく、パリ市やバルセロナ市等海外の事例も参考にしながら、モデル実施によりスタートしました。

事業執行に当たっては、常に見直しを図りながら事業の改善に努めたほか、事業の進捗状況などについては、区議会への定期的な報告に加えて、区公式ホームページ等を通じて公表してきました。

今後もより多くの区民が地域の課題を自分事として捉え、区政に感心を持ち区政により多くの区民が関わる機会を増やすことができるよう見直しを図りながら、公民連携プラットフォームを積極的に活用するなど組織の態勢も強化して取組を進めていきます。

1 実施状況

（1）実施概要

	令和5年度モデル実施	令和6年度モデル実施
募集テーマ	森林環境譲与税基金の用途	ぼうさいかけるマルマル 「防災×〇〇」 …「防災・減災」分野を中心に、他分野とかけ合わせることで、それぞれの取組を推進できる事業など
1事業の予算額の上限	2,000万円	2,000万円
予算規模	基金残高（約6,200万円）にあわせた規模	6,000万円程度（一般財源）
提案者	区内在住、区内へ通勤・通学、区内で活動する個人・団体・企業	区内在住、区内へ通勤・通学、区内で活動する個人・団体・企業
提案方法	インターネット及び郵送等	インターネット及び郵送等
提案件数	57件	83件
投票事業の選定	令和5年度参加型予算制度実施要項6（1）に基づく第一次審査により10事業を選定	令和6年度実施要項6（1）に基づく第一次審査及び令和6年度実施要項6（2）に基づく参加型予算制度投票事業検討委員会による第二次審査を実施し10事業を選定 ※選定結果の詳細は次のURLを参照 https://www.city.suginami.tokyo.jp/s004/12498.html#p2
投票者	区内在住の個人	区内在住の個人
投票者の確認方法	投票者が投票時に記載した氏名・住所（町丁目まで）・年齢について、住民基本台帳との照合を実施	投票者が投票時に記載した氏名・住所（丁目、番地、住居番号まで）・生年月日について、住民基本台帳との突合を実施
投票方法	インターネット及び郵送等	インターネット及び郵送等
投票者数	2,586人 住民基本台帳との照合の結果、杉並区民であることが確認できなかった者を含む	3,322人 住民基本台帳との突合の結果、杉並区民であることが確認できなかった者を除く

	令和5年度モデル実施	令和6年度モデル実施
周知方法	・広報誌・区公式ホームページへの掲載 ・X(旧 Twitter) やフェイスブック等の SNS の活用 ・区立施設へのチラシ設置 ・区立学校へのチラシの電子配布 ・各種イベントでのチラシ配布	左記に加えて、次の取組を実施 ・区立学校以外の学校への周知 ・区立施設、区内掲示板等にポスターを掲示 ・すぎ丸に車内広告を掲載 ・区内各駅の広報スタンドにチラシを設置(提案期間のみ) ・高千穂大学での講義(投票期間のみ) ・デジタルサイネージの活用 ・広報すぎなみ全戸配布号に特集記事を掲載 ・区役所1階、2階ギャラリー、すぎなみフェスタでのパネル展示 ・区内各 JR 駅、郵便局、税務署等へのポスター掲示依頼
公民連携プラットフォーム		提案募集期間及び投票期間にすぎなみプラスに記事を掲載したほか、投票期間終了後、すぎなみボイスにて投票事業に対する意見を募集

(2) 実施スケジュール

令和5年度	令和6年度	実施内容
6月15日 ～7月17日	5月15日 ～6月30日	区民等による事業提案募集開始 区民による事業提案の気運醸成を図るためワークショップを開催
7月～9月	7月～8月	区において、提案事業の内容確認・選定
10月1日 ～10月31日	9月15日 ～11月11日	選定した事業案を公表し、区民投票を実施
12月上旬		投票結果の公表
～翌1月上旬まで		投票で上位の事業について、事業実施方法等の詳細検討 当初予算査定において予算案に反映する事業を決定
翌1月末		次年度当初予算案の公表に合わせ、反映した事業等を公表

(3) 当初予算への反映状況及び決算見込み

令和5年度(令和6年度当初予算)

(単位: 千円)

No.	投票事業名 (予算事務事業名)	予算額	決算 見込額	事業内容
1	災害時に活用できる用具を公園に設置 (公園のリニューアル)	7,172	4,037	○広域避難場所である、井草森公園及び蚕糸の森公園にかまどベンチを各2基設置
2	歩行者が気軽に利用できる木製ベンチをまちなかに広めよう (地域集会施設等維持管理、駅周辺まちづくりの推進)	977	472 351	○駅に近く商店街に面した久我山会館敷地内に木製ベンチ1基設置 ○まちなか木製ベンチ等設置補助金交付事業を創設し、木製ベンチ等を設置する区民等へ最大5万円を助成(8件見込み)
3	区立公園に木製の遊具やベンチを設置 (公園等の整備、公園のリニューアル)	18,462	14,643 3,520	○下高井戸みんなの公園に木製遊具3基、木製ベンチ3基、縁台1基設置 ○6公園に木製ベンチ15基設置

※ まちなか木製ベンチ等設置補助制度は、令和7年度計上事業として継続実施

No.	投票事業名 (予算事務事業名)	予算額	事業内容
1	区立公園で太陽光発電と蓄電をしよう (公園のリニューアル)	10,500	○太陽光発電で蓄えた電力を使用し、非常時にはスマートフォンなども充電できる「ソーラー園灯」を井草森公園に3基設置
2	LED ソーラー街路灯給電スポットを駅前広場に設置しよう (街路灯の新設・改修)	14,000	○太陽光発電で蓄えた電力を使用し、非常時にはスマートフォンなども充電できる「ソーラー街路灯」を駅前広場に設置
3	水害対策にグリーンインフラを活用しよう (雨水流出抑制対策等工事助成)	18,964	○グリーンインフラを活用した水害対策の見える化や体験型のワークショップ（全3回）を桃井原っぱ公園にて実施 ○グリーンインフラを活用した雨庭の効果測定のための計測機器を設置

2 課題及び今後の対応

（1）より充実した事業提案をいただくための見直し

区民等からの事業提案について、法令や区の既存事業との重複等の関係から、一定割合のものが「実施不可」となっている。より実効性の高い提案をいただき、区民等の参画意識を高めていくためにも、公民連携プラットフォーム（すぎなみプラス・すぎなみボイス）を活用しながら、区の事業に関する情報をなるべくわかりやすく提供していくとともに、地域の担い手の皆さん同士をつなぎ、互いのアイデアや知識・ノウハウを共有しながら提案を練っていけるような「場作り」を行っていく。

（2）より多くの区民等の皆さんに参加いただくための仕組の検討

区の参加型予算の投票数は3,322人と、投票率としては1%に届いていない状況である。より多くの属性の方に事業提案、投票いただけるよう、従来の広報媒体での周知や地域でのイベント等での案内に加え、地域団体や教育機関といった地域の担い手へのアプローチを行っていく。